

地域資源を活かしたビジネス展開を学ぶ！ 「農商工連携先進地視察研修」

農商工連携に関する先進的な取組事例を視察。おもに1次産業者が主体となっている取組について視察し、農産物の付加価値向上や新商品開発等を行っている方々の現場の声を直に聞いていきます。

視察日

平成22年 11月 26日 金曜日 (仙台駅西口発着)※貸切バス利用

対象者

農林水産業関係者を中心に、農商工連携に関心のある方

こんな人にお勧め！！

- ・農商工連携に興味がある、連携をしたいと考えている方
- ・農商工連携実践者の生の声を聞きたい方
- ・1次産品を活かした新商品、新サービスを開発したい方
- ・1次産品の付加価値を高め、ブランド化したいと考えている方

募集

30名(先着順)

参加費

1,500円(税込)※昼食代として

視察先

仙台駅集合(9:00)→①秋保環境保全米プロジェクト視察(10:00)
→ホテル佐勘で昼食(11:30)→②安達農園視察(13:30)
→③大富農産視察(15:20)→仙台駅到着(18:30)

①秋保環境保全米プロジェクト

農業と商業の連携事例

仙台農業協同組合、秋保温泉旅館組合等が連携し、秋保産のお米を旅館で提供する取組。年間100万人が訪れる秋保地域においてさらなる発展のために生産者と旅館が連携している。旅館組合が環境保全米を使用するようになった経緯や成果、課題等について視察。

②有限会社安達農園

農業と商・工・観光業の連携事例

自社における6次産業化の取組の歴史、観光事業者との連携による観光農園の取組経緯を視察。また、地域農業者と連携し規格外品を活用した加工品開発に関する取組内容や、連携による農産物のブランド化について視察。

③大富農産有限会社

農業と工・商業の連携事例

異業種から農業参入した経緯や、自社生産の高品質わさびを利用した加工品の開発に関する経緯を視察。また、農業資材や飼料を取り扱う事業者との連携による、わさび葉を活用した養鶏用の飼料開発した経緯、連携によって得られる成果等に関する視察。

主催

経済産業省東北経済産業局
産業部産業振興課
宮城県仙台市青葉区本町三丁目3番1号
Tel:022-221-4906 Fax:022-215-9463

お問合せ・お申し込み

株式会社プロジェクト地域活性
宮城県仙台市宮城野区榴岡2-2-11 パスコ仙台ビル7階
Tel:022-205-3540 Fax022-299-1420
担当 竹岡 太田 小野寺

お申込み用紙

お申込みされる方は、以下記入欄に氏名、所属、役職、連絡先を記載の上、FAXで(株)プロジェクト地域活性までお送りください。

FAX番号 022-299-1420

※11月24日締め切り

参加者氏名 _____

所属 _____

役職 _____

住所 _____

電話番号 _____

<宛先>

株式会社プロジェクト地域活性

担当:竹岡 太田 小野寺

TEL:022-205-3540

FAX:022-299-1420

Eメール:info@prokatu.jp